

概要説明書

評価・提案テーマ		生活交通施策		担当局・部名	総務部	
協議内容		市内公共交通の利用促進		担当課・係名	政策形成課	
政策実施の背景		地方公共交通は、全国的に利用者の減少による減便・廃止が問題となっている。都留市においても平成17年には77,000人だった利用者数も、平成22年には22,000人にまで減少している。公共交通の存在は、車を運転することができる人にとっては課題と考えるにいが、車を運転できないお年寄りや障害者、子どもだけでなく、将来運転することができなくなる可能性のある人にとっても大きな問題である。公共交通を効率よく稼働させるため、その地域や時代に合った公共交通のあり方が求められている。				
目的 (何をどうしたいのか)		公共交通の利用促進を図り、「地域の足」の維持・確保を図る。				
市取組例	取組事業名	①市内循環バスの運行 ②予約型乗合タクシーの運行				
	取組内容	<p>【①市内循環バスの運行】 これまで都留市のバス路線はピストン形態のみであり、利便性が良くなく、効率も悪かった。そこで、平成24年8月より、市内の主要箇所を一巡することができる「都留市内循環バス」を本格運行させた。 運賃：1回200円(小学生以下及び障害者は100円) 事業者：富士急山梨バス株式会社</p> <p>【②予約型乗合タクシーの運行】 平成24年10月より、低利用が続くバス路線に廃止し、代わりにタクシー型車両により、予約がある場合にのみ運行する「予約型乗合タクシー」を本格運行させた。 運賃：1回300円(小学生以下及び障害者は150円) 事業者：富士急山梨ハイヤー株式会社</p>				
	取組における課題	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に対する市民の関心が薄い 学生の利用者が少ない 				
コスト	事業費	26年度(予算)	25年度(決算)	24年度(決算)	23年度(決算)	
		事業費合計	14,515千円	11,694千円	12,925千円	12,926千円
		主な事業費内訳(平成25年度分) バス路線維持補助金11,549,000円(運行系統数10系統) うち、市内循環バス路線補助額3,907千円				
事業実績	活動実績	【活動指標名】	単位	H25年度	H24年度	H23年度
		市内循環バス利用者数	人	10,168	5642 (8か月)	1,452 (実証運行2か月)
		予約型乗合タクシー利用者数	人	1,817	892 (6か月)	574 (実証運行2か月)
特記事項		循環バス 経費1,250万円 収益700万円 赤字額550万円				